

9月8日（火）城山地区の企業の森（*注）にて、TOYO TIRE(株)の社員約40名が参加して、遊歩道の整備（草刈り整地作業）、木の成長を阻害するツルの除去を行いました。地域に愛される企業を目指し、地域貢献活動の一環として、社員はボランティアで参加しています。整備した遊歩道の一部（約400m）を平成31年3月から一般開放しています。この日も作業の前に、地域の方が散歩しているのを見かけました。

作業の指導に当たったのはNPO法人森林(もり)の風。この東員町のプロジェクトを担当しているのは、東員町在住の中橋さんです。社員の皆さんが帰った後、城山小学校の裏山整備している「森の教室」で、引き続き作業。光が入るように、邪魔な木をチェーンソーで切ったり、鉋で藤ヅルを除去したりしました。今後は森林環境教育も含めた活動に発展させていきたいと考えているそうです。



9月26日(土)は「森の教室」にする作業の継続を行いました。丸太椅子の皮はぎ、桜の苗木植栽、蔓の伐採などに、社員20名と森林の風のメンバー11名が参加していました。当日は城山小学校の運動会と重なり、チェーンソーやチップパーなど音を出す工具の使用は午後の作業でした。

(*注)平成26年9月TOYO TIRE(株)、東員町、三重県の3者による森林保全協定が締結され活動がスタート。令和元年9月に2期目の協定締結。